

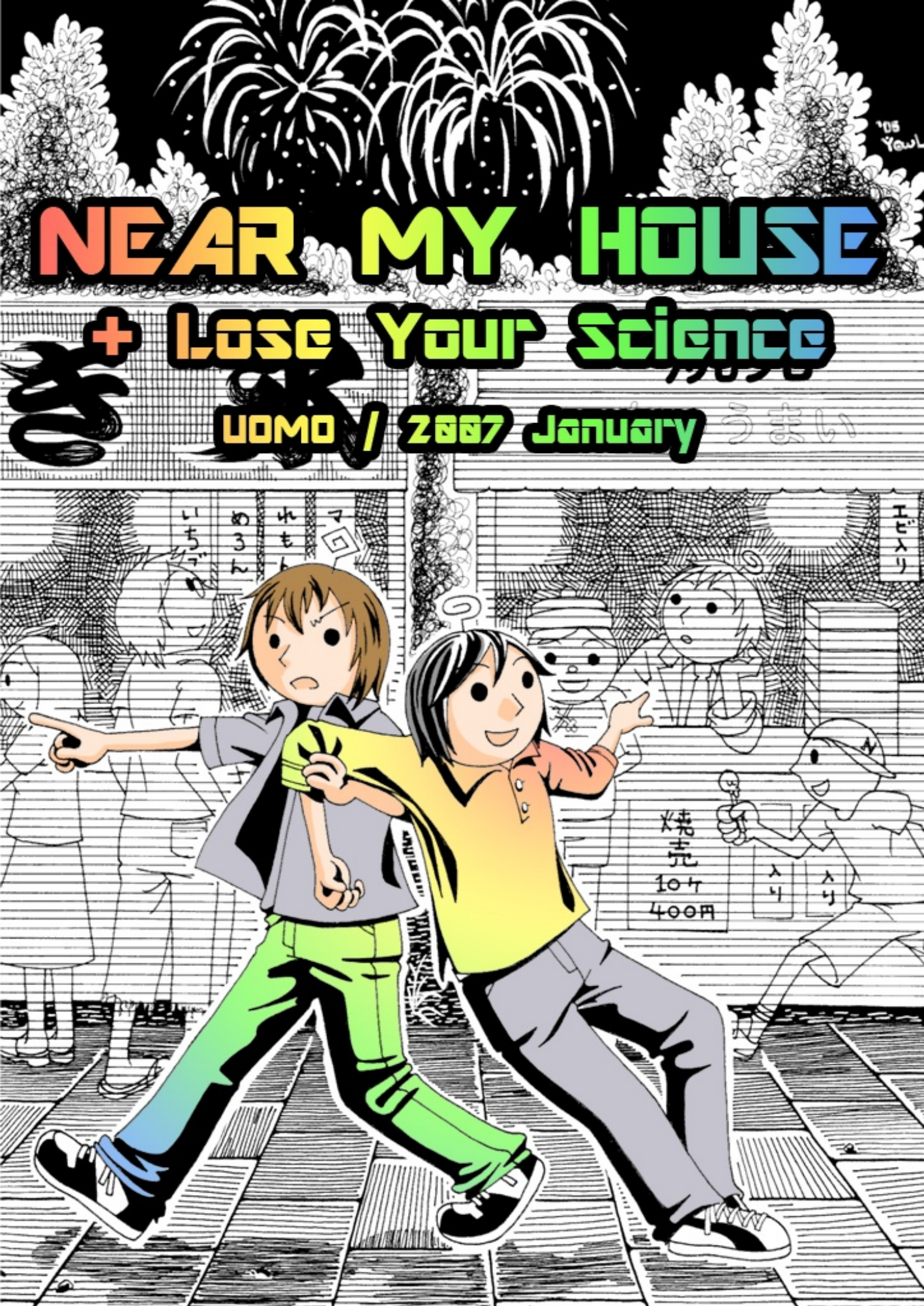
'05  
You!

# NEAR MY HOUSE

## + Lose Your Science

UOMO / 2007 January

うまい



このSukoshi Fushigiなお話は、UOMOが中学校2年生ぐらいの時に描いた鉛筆マンガを大学生のUOMOが描き直したものです。読み切りなのですが、その前に描いたマンガの設定を引きずっているため、あらすじに目を通してからご覧ください。

# あらすじ

シリーズ名：  
**地球植民地化計画**



← 地球を植民地にするためにコッソリ地球にやって来た“まども星人”は人間にへんてこな**アンテナが生えたようなビジュアル**の宇宙人。

実はこのアンテナ、取り外し式である。 ↓



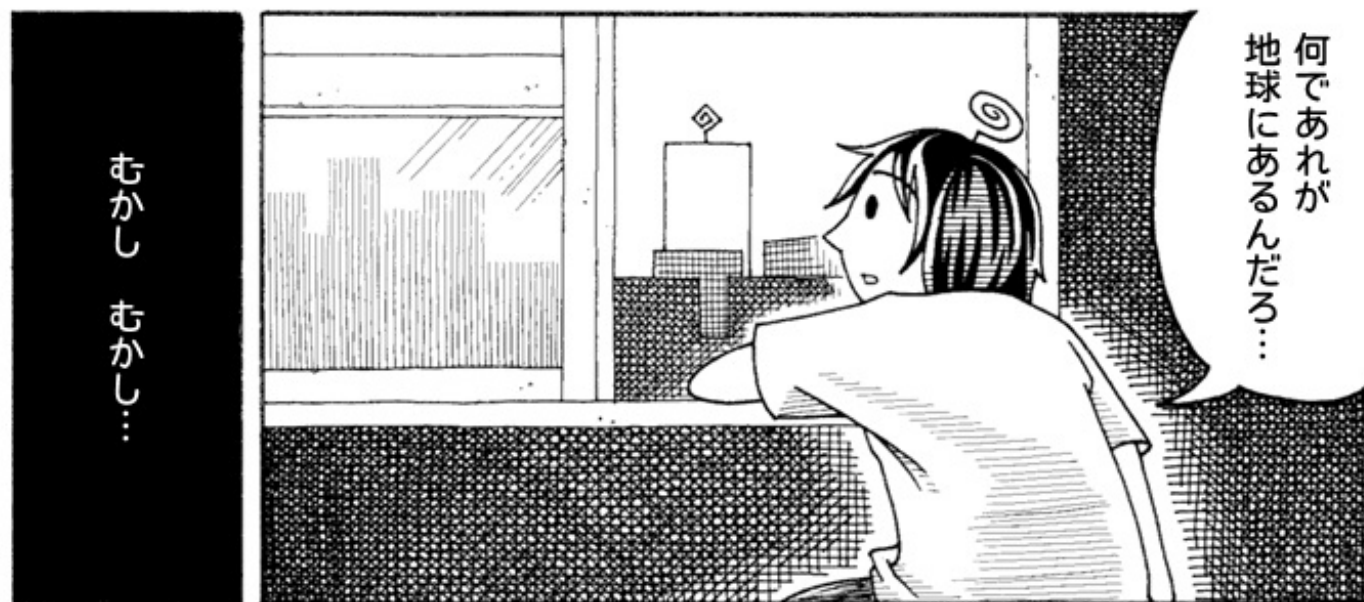
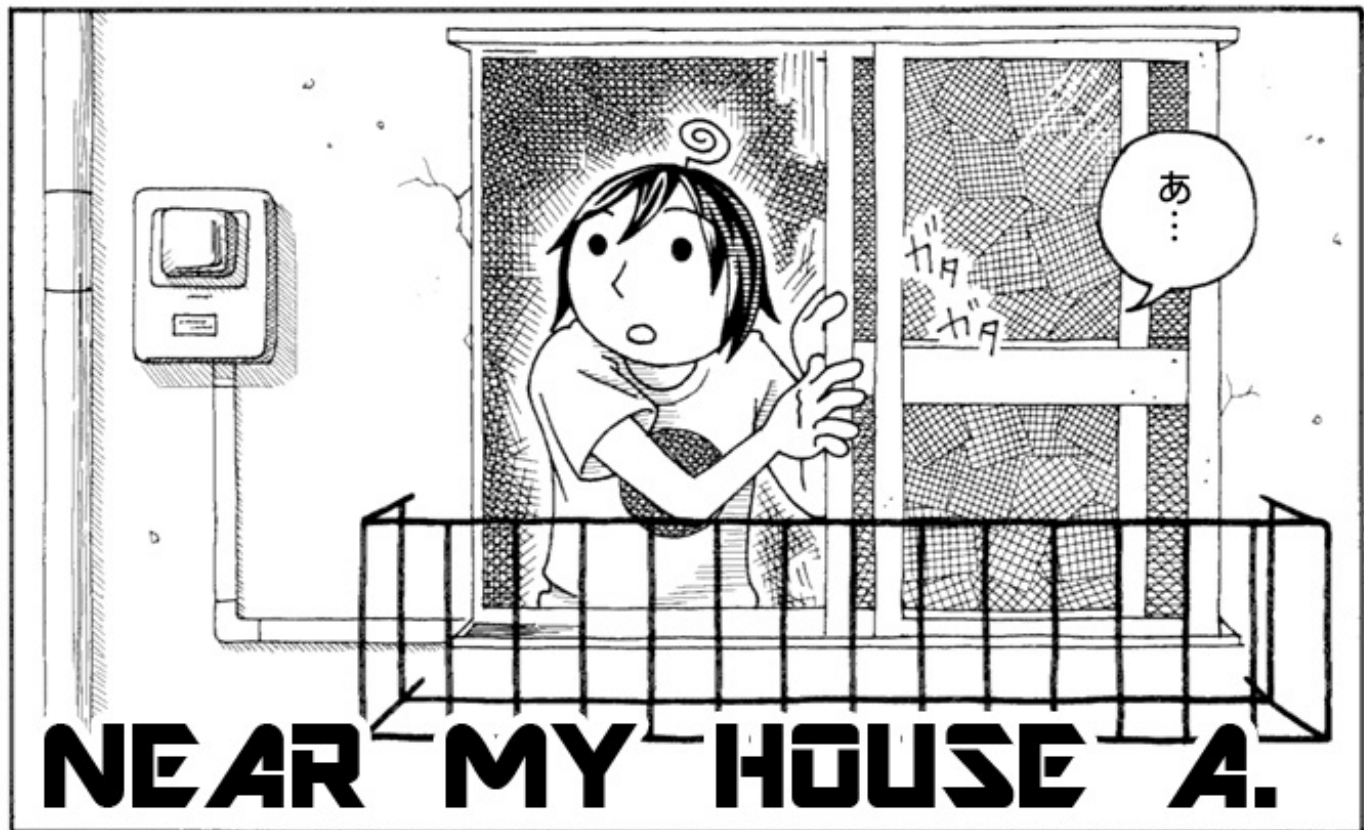
戦争を嫌うまども星人たちは地球を植民地にするため、地球人のまども星人化を計画したのだが →

↓ **全人類をまども星人化するためのアンテナの購入費用が莫大**なため、いまだに地球を植民地化できないでいる。



そんなわけで、まども星人たちは今日も地球のどこかでアンテナ購入代金を稼ぐためにせっせと働いているはずなのだ…！

**細かい所は突っ込んじゃ駄目**な少しも不思議ではないお話。



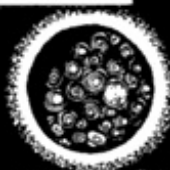


そこは美しい所で

あぜる星という  
衛星がありました

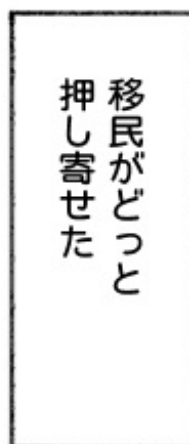


地球の裏側の  
まども星には



まども星

あぜる星

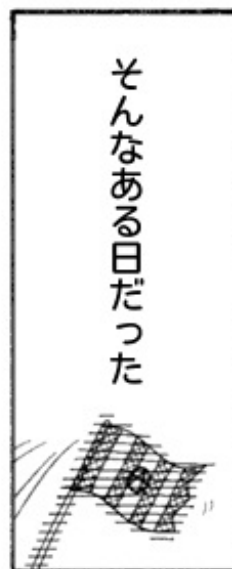
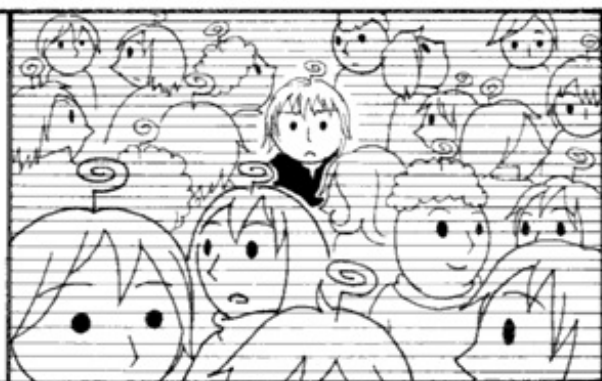


移民がどっと  
押し寄せた

植民が  
開始された途端



誰が疑っただろう



そんなある日だった



「あぜる星はまども星のもの」  
ということを？」

あぜる星の人々は  
独立を求めて団結

アンテナの形を  
変えたのだった

まども星政府は  
アンテナを変えた人々から  
罰金（第2ボタン）を取ったが

仕事  
増やすんじや  
ネエよ

あぜる星の人々は  
大量のボタンをまども星当局に  
投げ込んで抵抗した

そしてついには  
戦争に発展

まども星大統領と

あぜる星代表が…



ほん



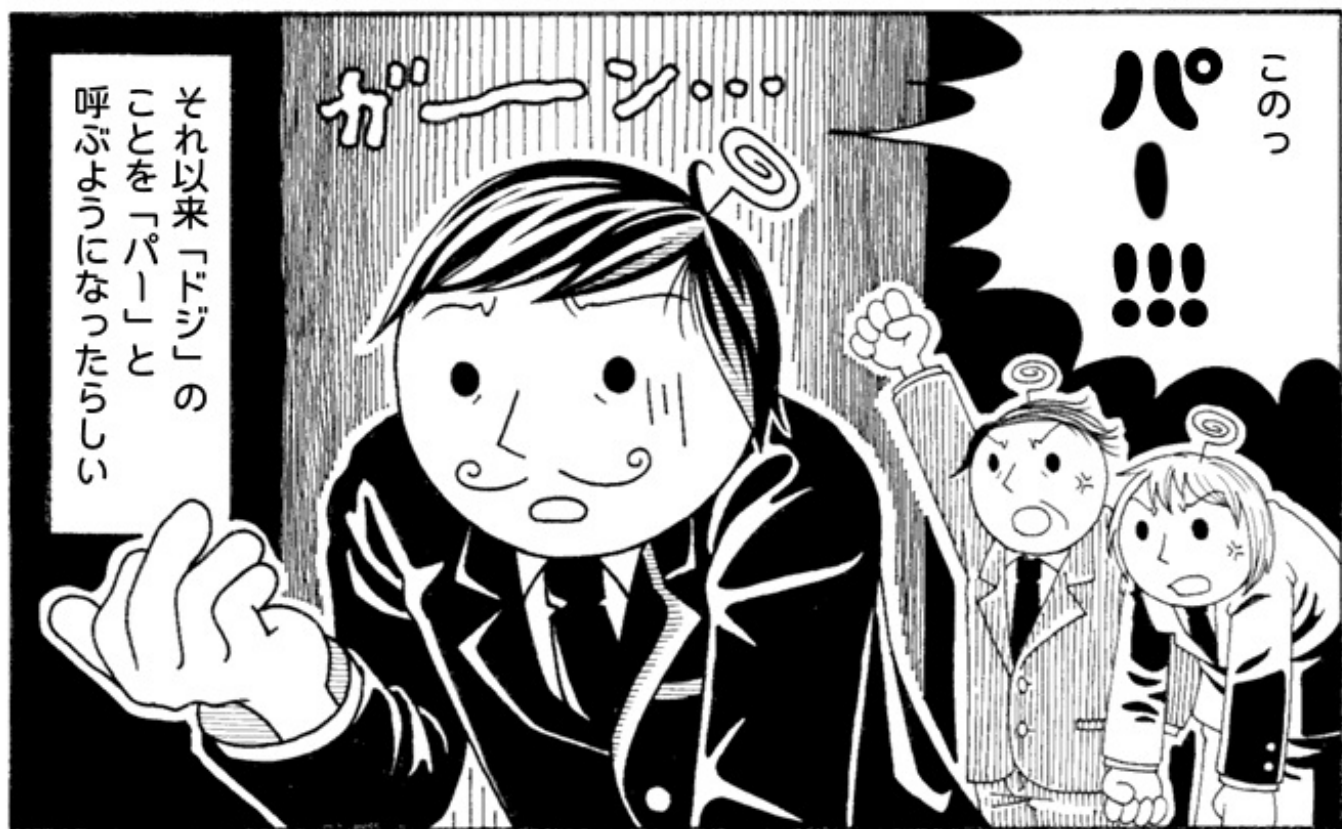
じゃーんけーん…

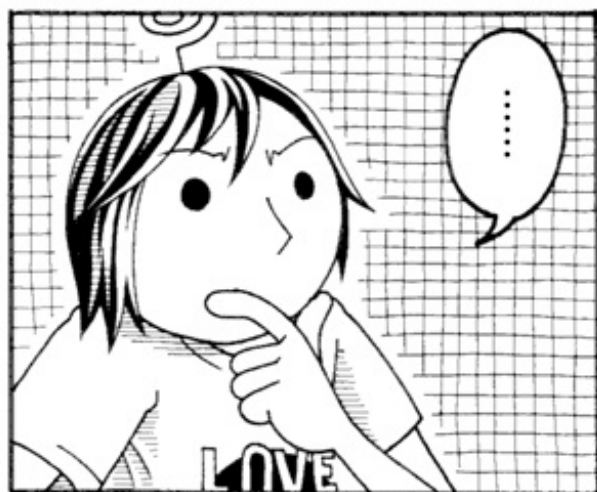


それ以来「ドジ」の  
ことを「パー」と  
呼ぶようになったらしい

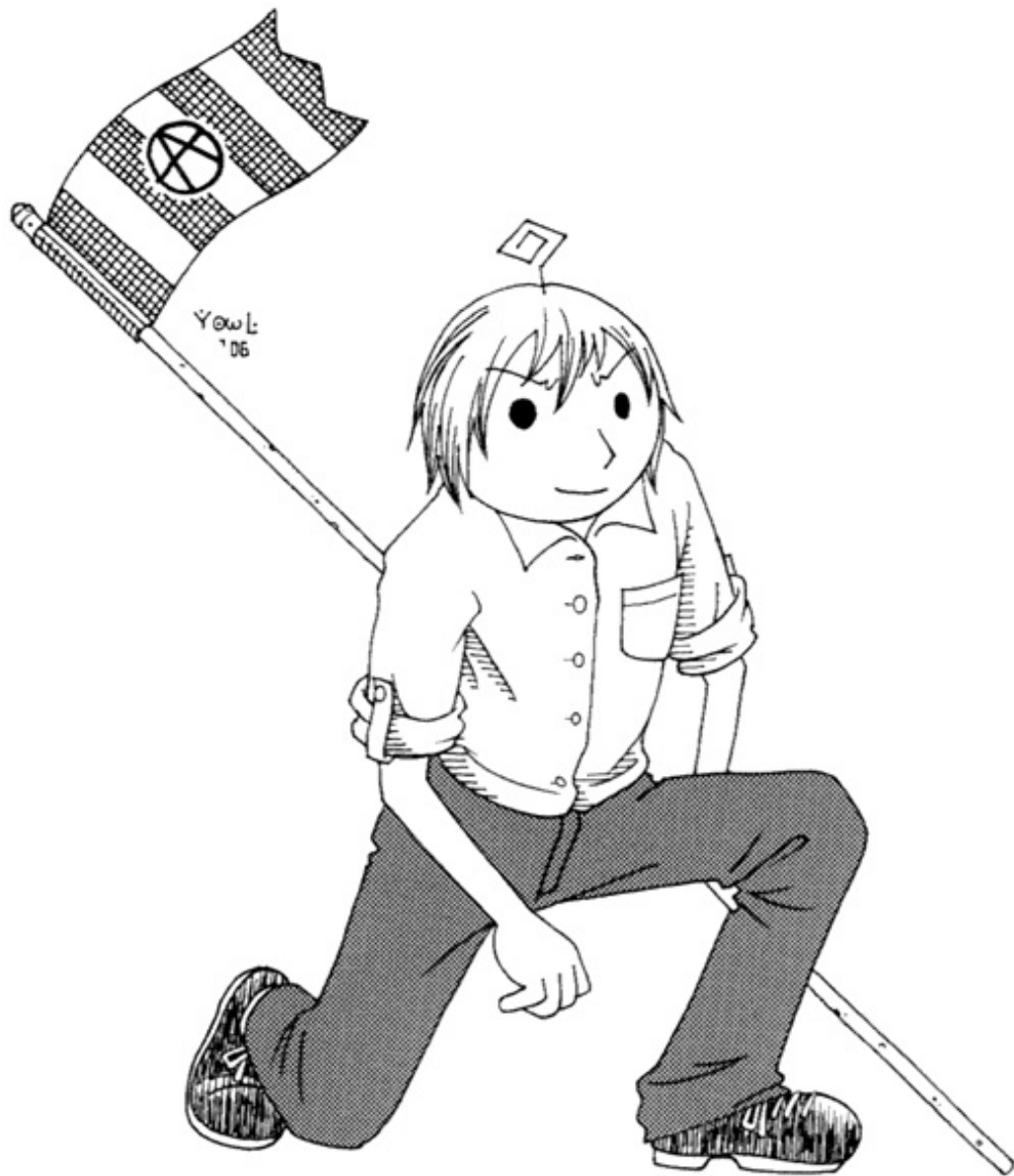
ガーン…

このっ  
パー!!!





**NEAR MY HOUSE A.**



**NEAR MY HOUSE B.**



おお、マヌケな  
まども星人が…



ポケーッと  
こっちを見ている…

さしずめ、

「何であげる星の  
アンテナが？」

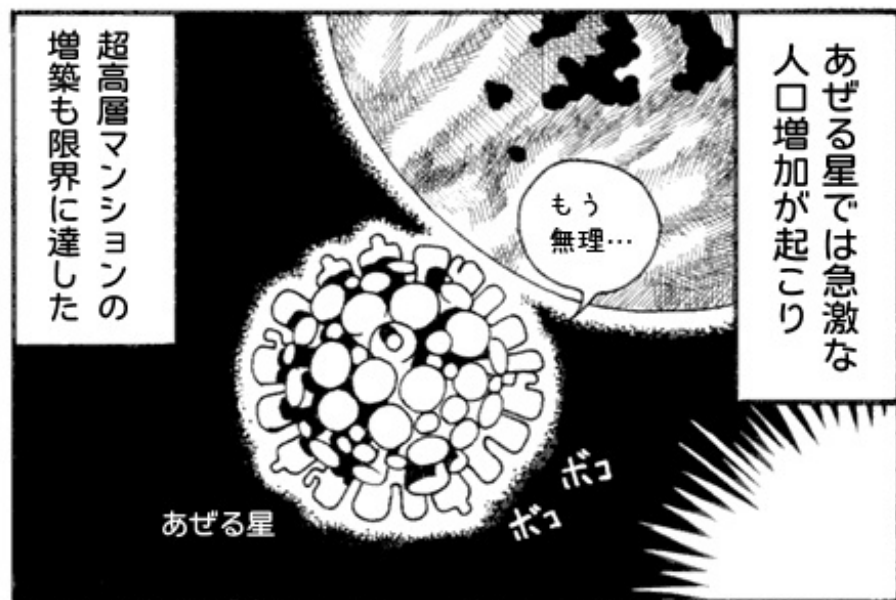
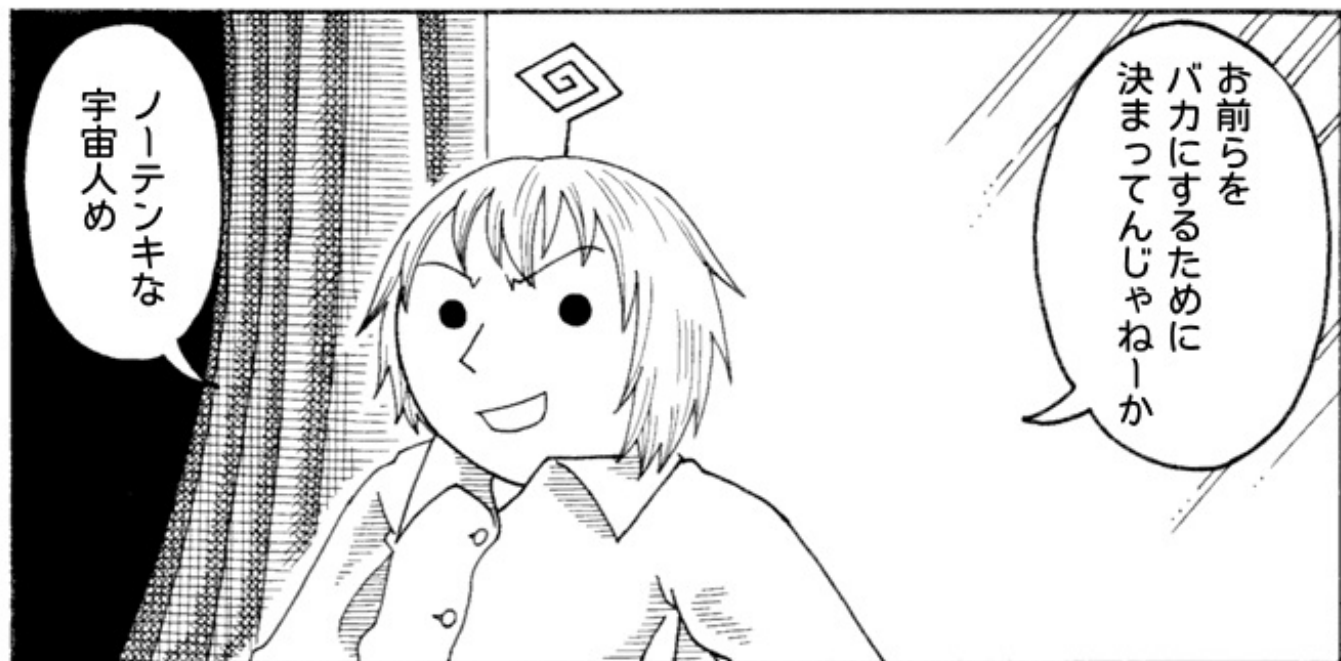


「そうか、地球人は  
ああいうのを  
カッコイイと  
思うんだな」って  
所か…

バーカ

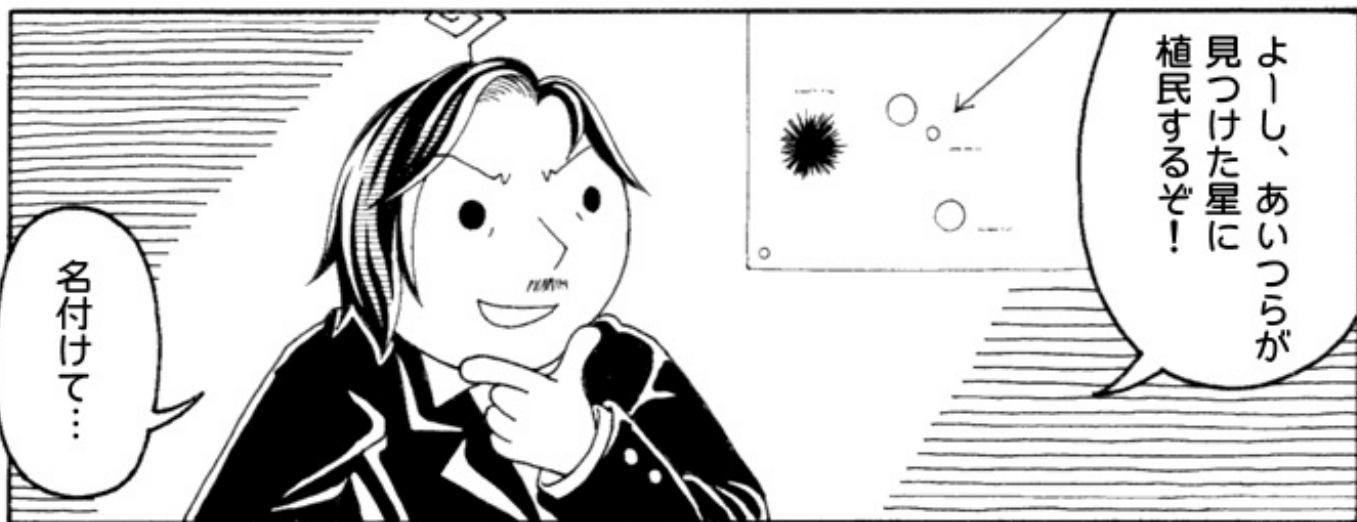


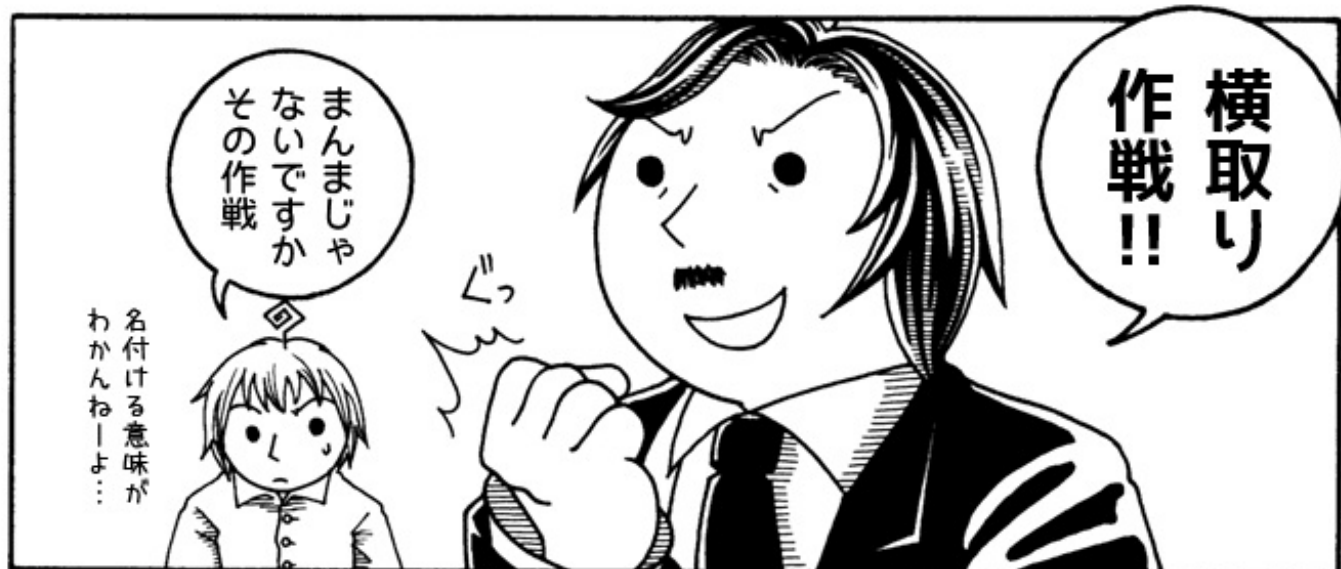
**NEAR  
MY  
HOUSE  
B.**



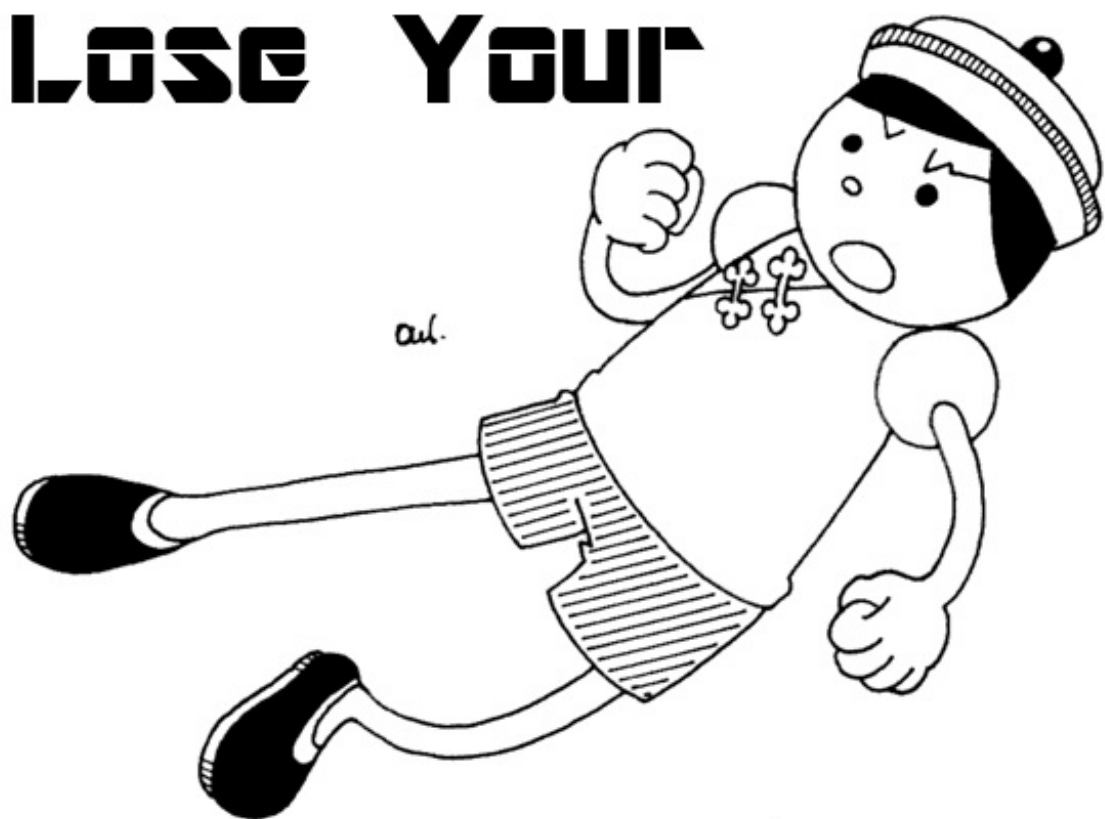
これはそんなに  
昔のことではないが







**LOSE YOUR**



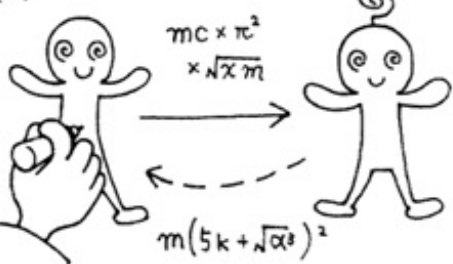
**SCIENCE**

はい、みなさん  
こんにちは

まども星の方から  
来ました！。  
まども博士です

ご存知の通り  
まども星は地球を  
植民地にしようと  
しています

私はそのための  
こんな難しい研究を  
させられているのですが…



ケチな政府の割に  
研究資金が  
たんまりと出たので

おお

私は長年の夢だった  
あるものを  
作ることにしました

いけないことだから  
良い子も悪い子も  
マネしないようにね

その  
あるものは？

特別に  
教えちゃおうかな？  
あのですね…



必殺

崎陽拳!!

え…そんな  
オブション  
付けたっけ?



あ…??



できましたー

??

ガチャ







The End!

## NEAR MY HOUSE + Lose Your Science

<http://p.booklog.jp/book/65447>

著者 : UOMO

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/holuom/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/65447>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/65447>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ

# Manual Shoomei System



最後までお付き合い下さりありがとうございました！